

出前授業名	豪雨災害と地域安全の再確認 ～いつもの道は大丈夫？～	
対象科目	地理, 総合学習	
対象学年	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 中学1年 <input checked="" type="checkbox"/> 中学2年 <input checked="" type="checkbox"/> 中学3年	
同時対応可能人数	<input checked="" type="checkbox"/> 1学級(約40人まで) <input type="checkbox"/> 複数学級同時対応可 <input type="checkbox"/> その他:(   )人まで 備考:	
授業時間	約 90                      分      備考: 項目を調整した45分間の実施も可能です	
授業内容	<p>【対応する中学校学習指導要領】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会(地理的分野)『C 日本の様々な地域(1)地域調査の手法』</li> <li>・総合的な学習の時間『地域や学校の特色に応じた課題 防災』</li> </ul> <p>【概要】</p> <p>豪雨災害というテーマを通じて, 読図の仕方や地域の安全性について学ぶとともに, 豪雨時の行動のあり方や対策方法について考えることで探究的な学習に繋がります。</p> <p>【内容】</p> <p>(1)出前先の中学校区の地図を用いて, 豪雨時に危険と思われる区域を予想してもらいます。          (2)予想結果を, ハザードマップや出前教員が用意した想定氾濫シミュレーション結果と比較し, 予想と異なった理由を考えてもらいます。また, 普段利用する道路や親しみのある区域の安全について確認してもらいます。          (3)治水地形分類図と現在の地形を比較し, 既往災害事例についても学習します。          (4)上記を踏まえ, 豪雨時の行動のあり方や注意すべき内容, 対策について考えてもらいます。</p>	
教室、設備等	対応可能な教室形態	<input checked="" type="checkbox"/> 通常教室 <input type="checkbox"/> 理科室 <input type="checkbox"/> 情報端末室 <input type="checkbox"/> 体育館等 <input type="checkbox"/> その他:
	必要な設備等	<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクターとスクリーン <input type="checkbox"/> パソコン:        台 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> その他:
	備考:	個人作業も可能ですが, グループディスカッション方式でも可能です。
派遣講師数	1～2名 (1回あたり、授業に出向く人数)	
担当者(所属学科)	◎永野 博之(環境都市工学科)、鈴木 一史(環境都市工学科) <p style="text-align: right;">※ ◎は主担当</p>	